

# 沖縄県の道路



## ① 今帰仁城跡

(なきじんじょうあと)



琉球に統一王朝が樹立(1429年)される直前の三山時代(北山、中山、南山)の北山を治めた王国の居城。1416年に北山が中山によって滅ぼされた後には、琉球王府から派遣された北山監守の居城となった。史跡に指定されている。

## ③ 勝連城跡

(かつれんじょうあと)



琉球王国の王権が安定していく過程で、国王に最後まで抵抗した有力按司、阿麻利(あまわり)の居城。阿麻利は、1458年に国王の重臣で中城城に居城した魏佐丸を滅ぼし、さらに王権の奪取をめざして国王の居城である首里城を攻めたが大失敗して滅びた。これにより首里城を中心とする中山の王権は安定した。史跡に指定されている。

## ② 座喜味城跡

(ざきみじょうあと)



1420年代に有力な按司であった魏佐丸によって築かれた城。北山が滅びた後にもその旧勢力を見張る目的で造営され、琉球王国成立の初期に国家権力の安定に重要な役割を果たした。史跡に指定されている。

## ⑤ 首里城跡

(しゅりじょうあと)



首里城は、三山時代は中山国王の居城であったが、1429年の琉球王国統一後は1879年に至るまで、琉球国王の居城として王国の政治・外交・文化の中心的役割を果たした。史跡に指定されている。

## ④ 中城城跡

(なかくすくじょうあと)



阿麻利(あまわり)を牽制するために、座喜味城主であった魏佐丸が国王の命により移り住んだ城で、琉球王国の王権が安定していく過程で重要な役割を果たした。史跡に指定されている。

## ⑥ 園比屋武御嶽石門

(すぬひやうたきいしもん)



園比屋武御嶽石門は、第二尚氏王統第3代王の尚真(在位1477～1526)によって創建された石門で、門の背後の樹林地は園比屋武御嶽と呼ばれる聖域となっている。門は重要文化財に、門とその敷地は史跡「首里城跡」の一部である。

## ⑦ 玉陵

(たまうどうん)



第二尚氏王統第3代王の尚真(在位1477～1526)によって築かれた第二尚氏王統の陵墓。近世日本の琉球地方において確立した、独自の石造記念建造物のデザインを示す貴重な事例である。重要文化財と史跡に指定されている。

## ⑧ 識名園

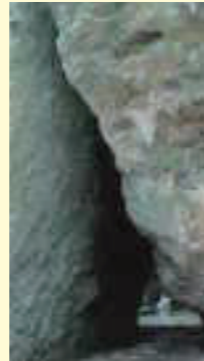
(しきなえん)



1799年に造営された王家の別邸の庭園。王族の保養の場として使われただけでなく、中国皇帝の使者である冊封使を接待する場としても使われ、王府の外交面において重要な役割を果たした。識名園は、近世日本の琉球地方において確立した独自の庭園デザインを示す貴重な事例である。特別名勝に指定されている。

## ⑨ 斎場御嶽

(せーふあうたぎ)



第二尚氏王統第3代王の尚真(1477～1526)が整備した国家的な宗教組織との関係が深い格式の高い御嶽で、中央集権的な王権を信仰面、精神面から支える国家的な祭祀の場として重要な役割を果たした。斎場御嶽は、琉球地方に確立された独自の自然観に基づく信仰形態を表す顕著な事例である。史跡に指定されている。



一般県道 石垣空港線



2022年 沖縄県の道路

監修 沖縄県土木建築部  
発行

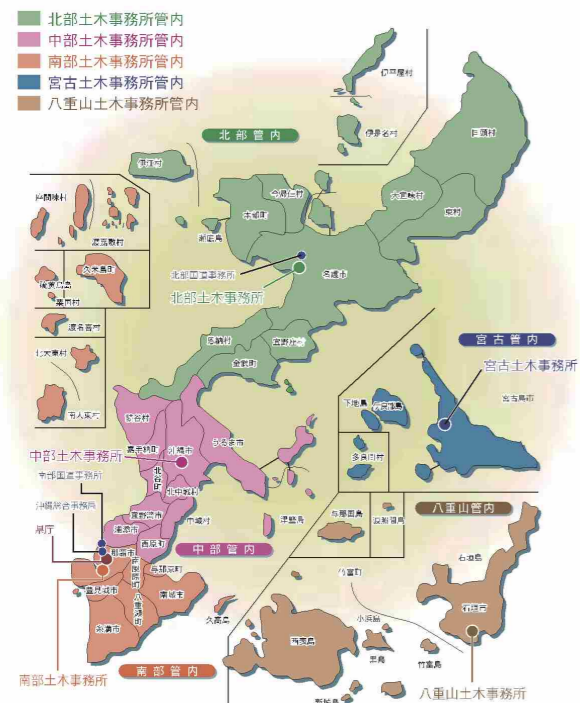
2022



# 沖縄県の道路 ~美ら島・うまんちゅの道づくり~

## CONTENTS

沖縄の概要	1
道路の状況	2
交通の状況	3
1.機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)	3
2.自動車保有台数	3
3.レンタカーの状況	3
4.交通量(平成27年度交通センサスより)	4
5.渋滞状況	5
道路の計画	6
道路の予算	14
道路の整備	15
1.一般国道(指定区間)	15
2.一般国道(指定区間外)	17
3.主要地方道(高規格道路)	19
4.主要地方道	20
5.一般県道	22
6.街路	26
7.渋滞ボトルネック対策	31
8.交通安全・無電柱化・道路保全	32
9.道路の維持管理	35
10.市町村道	36
11.離島架橋	37
12.沖縄都市モノレール	38
13.道の駅	40
資料	41



沖縄振興特別措置法等に基づき策定する本県の総合的な計画

道路等の社会資本整備の推進に係る国の基本計画

